



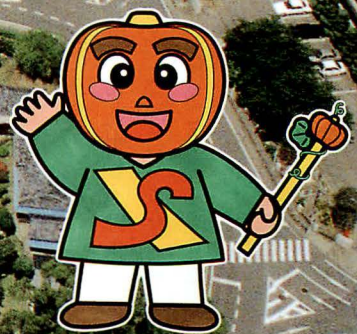
広報 しげのぶ

7

月号別冊

No.277

町制40周年記念特集号



重信町制40周年記念式典



故 高須賀桂氏
 大正三年十一月十七日(土)にて出生。父元祥、母長高須賀換。東京美術学校卒業後、陸軍後援隊隊員として所屬し、制作を続け、昭和三十七年二科会員、同会評議員、東京芸術大学講師として活躍する傍ら、通産省入省、特許庁審判部審判長として功績あり。従四位勲四等瑞宝章。平成五年十一月二十一日(土)に没す。

重信町出身で東京で活躍していた彫塑家(故)高須賀桂氏の平成五年二科会文部大臣賞作品「家族」他五点が遺族から贈られ、町民会館で町制四十年記念式典にさきだち除幕式が行われました。

作品は町民会館ロビー他に展示しています。

「家族」除幕式 作・(故)高須賀桂氏

町制40周年記念式典 6月28日に開催

夢創造、生きがい発見 重信町

重信町は、昭和三十一年、旧三ヶ村が合併し、今年、町制施行以来四十周年目の記念の年となりました。当時人口約一万五千人だった重信町も現在は、二万二千人を越す愛媛県第二の雄町となり、着実に発展をとげています。

六月二十八日には、重信町民会館で記念式典が行われ、各種団体、来賓など約三百五十名の出席者が盛大に節目の年を祝いました。

式典では、和田町長の式辞のあと各分野で功労のあった八十七人と三団体に表彰状が送られました。そのあと、作文発表が行われ、町のイメージキャラクター「かぼちゃん」が登場し、発表者に記念品が贈呈されました。

そのあと来賓祝辞、議長あいさつ、受賞者謝辞があり、最後に町の発展を祈念し、力強い万歳三唱で式典を締めくくりました。



重信町制四十周年を迎え、町民の皆様とともに祝いできますことを心よりお喜び申し上げます。

昭和三十一年九月一日、重信町は時代の要請に因應、北吉井・南吉井・拝志

町制40周年ごあいさつ

私達は、先輩が築いてこられた輝かしい伝統と歴史の上に立ち、個性豊かな諸施策を積極的に推進し、「みどり」と文化のまち重信」の町づくりに邁進したいと考えております。

町民の皆様の格別のご厚情に厚くお礼申し上げますと共に、今後ともより一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

重信町長 和田 治樹

村の三ヶ村が合併誕生し、かつての素朴な田園風景の農村から、県都松山市のベッドタウンとして飛躍的に発展してまいりました。

顧みますと、合併と同時に策定されました新町建設の第一次総合開発計画、更に第二次、第三次と進め、現在その第三次計画に基づき整備を進めております。

ここ数年は、工業団地の造成、ほ場整備事業の推進、林道整備、また、上村・牛

渕・樋口の重信川緑地公園整備、高速道路建設に伴う周辺整備事業、そして今年度末には、ごみ焼却場が完成する予定です。

その他、野田の土地区画整理事業も完了、特別養護老人ホーム「ウェルケア重信」も今年四月完成し、スタートしたばかりです。

現在、社会情勢は、長寿社会、高度情報化社会へと移行し、二十一世紀に向けて大きく転換しようとしております。

功労者表彰名簿

(敬称略)

自治功労

議会議員

- 八木 昌延 佐伯 寛
- 平岡 収 大西 茂徳
- 丹生谷 操 丹生谷隆夫
- 牧 清行 渡部 清春
- 野中 久敏 濱田卯三郎
- 佐伯 強 高須賀 徳
- 窪田 定靖

区長

- 渡部 茂 青井 重一
- 山木 榮典 松下 高繁
- 由井 昂 池田 照明
- 相原 茂 池川 康
- 矢葺 莊一

選挙管理委員

- 和田 良一

人権擁護委員

中奥義信

- 宮倉 忠徳 津川 義明
- 山内 清 藤岡 卓
- 相原 捷 石丸 臣一

福祉功労

民生児童委員

- 井門 新孝 明賀 多丸
- 松下 豊 露口 榮子
- 竹村 義一

社会福祉

- 増田 康子 高須賀一美
- 伊賀 鏞 東倉 貞市

保健

- 高橋 勲 西村 光雄
- 別宮 徹 伊賀ツタエ

産業功労

農業委員

- 松下源四郎 海稲美智男

土地改良区

- 松下 通 松下 宗継
- 菅原 晴雄 石丸 敏雄
- 相原 弘茂 窪田 定靖

産業振興

- 山内 敏克 八木 昌延
- 松下 律子
- 重信町農業協同組合いちご部会
- 重信町農業後継者協議会



「寄贈された彫塑「家族」」

教育功労

教育委員

- 島田 省吾 石丸 法明
- 稲荷 善一 池川 敏朗
- 野中信一郎

社会教育

- 近藤 宏 藤岡 侑子

社会体育

- 和田 忍勝 相原 俊一
- 仙波 文男

文化

- 渡部 正壽 重信史談会

永年勤続功労

元職員

- 和田 勉 高須賀 寛
- 石丸 敏雄 水田 博孝
- 日野 鶴恵 戒能 由子
- 土居 照子 安井 茂子
- 野口 澄子 井上 廣継
- 高須賀トシエ 伊藤 博
- 大西 恵 田村 久雄
- 相原 浅夫 井門 幸見
- 宮崎 清子 丸岡アヤ子
- 門田 梵



町制施行40周年を迎えて

わが重信町が町制施行四十周年を迎えることができましたことは、誠にうれしく、私にとりましては、この上ない喜びであります。私が申し上げるまでもなく、本町は北吉井・南吉井・拝志村の純農村の三ヶ村が合併し、人口一万四千七百余人余りで誕生致しました。現在では二万二千人余りの、県下で第二の町として発展いたしておりますことは、これひとえに、各関係各位の適切なご指導、ご援助によるものと存じますとともに、歴代の行政関係者、諸先輩のたゆまざるご努力と、町民の皆様のご理解、ご協力のたまものと、感謝を致す次第でございます。本町は、重信川により南北に分かれておりますが、

町発足以来、懸案となっており、架橋の二本も、主要幹線道路により国道、県道に接続され名実共に一つの町となりました。

また、愛媛大学医学部をはじめ各種の学校等も設置され、教育の町、田園文化都市として発展致しておりますことは、誠に喜びにたえないところでございます。

しかし、これから取り組まなければならぬ課題として、上下水道、企業誘致、区画整理による住宅環境づくり、また、庁舎移転等様々な事業が山積致しております。

二十一世紀も目前となりましたが、この四十周年を契機に未来に向かって、夢と活力のある町づくりのため、また、複雑多様化する行政需要に因應するため英知を結集し、将来を展望し、町民相互の融和、信頼のもと、皆様と共にすばらしい重信町となりますよう全力を傾注する所存でございますので、一層のご協力をお願い申し上げます。

重信町議会議長
丹生谷 操



ほくたちの重信町

拝志小四年 永野 太郎



「さん」です。カボチャの服
そうはともカラフルで、お
もしろいです。これで、運動
会も、もったのしくなると
思います。

もう一つ重信町には、いい
ところがあります。

それは、公園が多いことです。

ほくは、近くにあるかすみの
森公園が、いちばん気に入
っています。

ほくは、友達とゆうぐを使
って遊んでいます。

でも、さいきん公園にごみ
が、ふえています。ほくは、

ときどきお父さんとごみを拾
っています。みんなが楽しく
遊べる公園にしたいです。

西岡の方では、今、大きな
公園ができています。大き
い公園ができています。かた
のしみにしています。

これから、たのしい行事
があつて住みよい町になつて
ほしいと思っています。

また、重信町ができて、四
十年ということで、今までの
よいところをどんどんひきつ
いでいってほしいです。

ほくもできるだけ、よい町
になるように、できることを
みつけてやっつけていきたいと思
います。

いつまでも住みよい
町づくりを

重信中一年 大北美也子



この間、父が「重信町は、
気持ちのいい所だ。」と言つて
いました。私もそう思います。
「どうして」と聞かれるのな
ら、こう答えます。

「四季を目で感じられるから。」
春は町が桜の花で囲まれま
す。家々ではつばめが去年使
っていた巣を修理し、卵を産
み、ふわふわで可愛らしいヒ
ナを育てます。我が家にもつ
ばめ夫婦が帰ってきます。今、
卵を温めている所なのできつ
と可愛いヒナが産まれること
でしょう。

夏の朝はセミの声、夜は田
んぼの影に隠れて鳴くカエルの
声がこたえます。私達の
声だって、いっそう元氣あふ
れる声になります。夏休みに
なると家族そろって山之内へ
行き、テントを張り、大自然

の中で夜を過ごします。これ
は私が幼稚園の時から毎年か
かさず行っている夏のお楽し
みです。

私はそんな都会では感じと
れない四季の変化がこの重信
町で感じとれるから大好きで
す。しかし、何もかもがいい
というわけではありません。

例えば人がたくさん増えて
きていますが、当然、ゴミは
増え、どんどん町が汚れ、き
れいな重信町、住みよい重信
町でなくなりそうです。また、救
急車の利用の仕方でも考えてほ
しいと父が言っていました。

「救急車を使う回数がこのご
ろ多くなつてきている。つま
り、病人が増えてきていると
いうことだ。しかし、救急車は
タクシーとはちがう。だから、
本当に大変な時だけ使用して
ほしい。」重信町民がみんなの
ことを考えて行動したり、対
策を立てればいつまでも住み
よい重信町でいられます。

例えばゴミを減らすにはポ
イ捨てをやめ、クリーン運動
や井手さらいを行い、救急車
の利用回数を減らすために
は、自分の健康状態を知って、
病気になることを予防した
り、ひどくならぬよう注意す

四十周年記念行事

七月〜八月中旬

記念パネル展

(町民会館ロビー)

町の四十年のあゆみ他、

町行政に関する資料の展示

十月

記念植樹

(重信町総合公園予定地)

照葉の森づくり等

ちびっこあそび天国

(松山国際ゴルフ倶楽部)

開放したゴルフ場での子

供対象のレクリエーション

十一月

館野 泉 ピアノリサイクル

(町民会館大ホール)

フィンランド在住の日本

を代表するピアニストによ

るリサイクル

落語とお笑い相談室

(町民会館大ホール)

落語家の笑福亭仁鶴さ

ん、弁護士の三瀬顕さん他

による法律相談室の開催

詳細は、決定次第広報等

でお知らせいたします。

問い合わせ先

役場総務課

☎九六四一二〇〇一(代)

ればいいと思います。

ところで、重信町には公園や広場などたくさんレジャー施設などがあり、「せっかくの休みなのだから、遊びたい。」と思うこともあるでしょう。それなら、と私は考えてみました。

重信町民運動会やドテカボチャカーニバルのようなみんなが進んで、しかも楽しみながら参加できることをもって増やせばいいと思うのです。そうすれば、「今年の日曜日は〇〇があるから行ってみよう。」というような感覚で参加する人が増え、会場はもりあがると思うからです。

そのようなことをたくさんすると「重信町はいい所だ。」という人が今まで以上に増えるのではないのでしょうか。これからも、ますますきれいな住みよい、にぎやかな重信町でいてほしいと思います。

これからの重信町

重信中三年 松岡 佑樹
河野 佑輔



「ぼく達が“かぼちゃん”の生みの親です。かわいい名前をつけてくれてありがとう。」

二年生の一学期、社会科で、高速道路が重信町に与える影響を調べて発表する会がありました。そしてその後、学んだことを生かして、重信町をよりよくするため、クラスで話し合いをし、町長さんに要望を出すことにしました。一・プールや遊園地をつくるてほしい。

重信町イメージキャラクター

「かぼちゃん」



豊な自然を、黄色のラインは重信に注ぐ太陽を、赤ス(S)のマークは重信町をイメージしているそうです。

改築してほしい。などです。でも、これでは何か物足りない、もっと町民のみなさんに喜ばれるものはないかと考え、今、重信町にも他の町にもないものは何だろうということに焦点を絞ってみました。その結果として、重信町のマスコットキャラクターをつくったかどうかということになりました。

どてかぼちゃんについては、毎年カーニバルが開かれているので、知っている人が多いと思います。さらに、かぼちや自体、なにか温かみや、愛着を感じさせるものがあるというのを選んだ一番大きな理由でした。

そして、マスコット人形のひとつひとつの部分に意味があり、しかも強烈なインパクトを持つものを必死に考えました。目の形や、服の色にも工夫を凝らしました。

服は、緑・黄・赤の三色から成っていて、更に、ステッキは、明日の重信町を担う子供たちを導くためのもので、輝かしい未来を見つめ力強く握りしめています。

ところで、重信中学校では、最近、「チーム・ボランテア」

を結成し、生徒の活動として活発に動き出しました。

また、志津川に「長安」、北野田に「ウェルケア重信」が完成したことにより、ボランテアが、より身近なものとなりました。

そして、福祉施設が二つもできたことで、重信は、よりいっそう「人に優しい町」になると思います。自分たちも、やがては年をとり、おじいさん、おばあさんと呼ばれるようになりそうです。その時、こうした施設があったら、とてもうれしいことだと想像します。そして、重信町に住んでいてよかったですと感じるのはないでしょうか。

僕らが、年をとってもそう思うように、大人になっても重信に住みたいと思えるように、今から若い人も年輩の人と共に支え合い、明るい重信町づくりを進めていきたいと思えます。そして、「かぼちゃん」も、その中で小さくても一役果たせたらいいなと思います。

町制四十周年記念 エコーはがき

「重信八景」絵はがきを配布



町では、このたび、町制四十周年を記念して「重信町制四十周年記念エコーはがき」を作成しました。

記念式典の日に発売となったこのエコーはがきを一世帯二枚ずつ、重信八景の絵はがきとセットにし、町民の皆様へ配布いたします。

このはがきは、イメージキャラクターの「かぼちゃん」と重信八景のなかの「白糸の滝」をデザインしており、県下各地の郵便局で発売されています。

お配りしたはがきは、ぜひ町外の方へのお便りにご利用いただき、町のPRにお役立ていただければ幸いです。なお、組入りにくい方、また、はがきが届かない方には役場総務課にてお渡しいたします。

問い合わせ先

役場総務課

☎九六四一二〇〇一

紙面の都合上、一部割愛させていただきます。

重信町40年の歩み

(町制施行から現在までの主な出来事)

- 昭和31年／1956年
9 旧三ヶ村が合併し重信町発足
高須賀治利氏町長に就任
- 昭和32年／1957年
5 町民大運動会開始
- 昭和33年／1958年
1 国民健康保険事業開始
4 吉井中学校に拝志・山之内
中学校を統合し、重信中学
校と改称
- 昭和34年／1959年
5 国道11号線舗装工事完成
9 上重信橋竣工
- 昭和36年／1961年
5 重信郵便局新築移転
- 昭和38年／1963年
1 明治23年以来の豪雪
多雨により農作物被害1億円
10 町内の秋祭りを統一
重信町川内町組合立火葬場
改修工事完成
- 昭和39年／1964年
2 重信郵便局に電話業務を統合
3 庁舎落成
- 昭和40年／1965年
2 重信中学校「少年の日」式
典挙行
3 拝志大橋竣工
5 集団赤痢発生
- 昭和41年／1966年
6 道前道後水利開発事業南部



▲第1回皿ヶ嶺登山(S43)



▲重信中学校周辺(S38)



▲合併祝賀式(S31)



▲町営最初の簡易水道施設(S44)



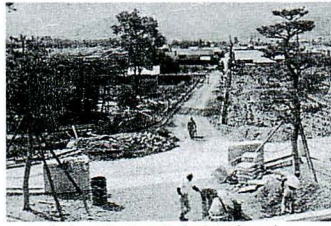
▶庁舎落成(S39)



▲合併当時の役場庁舎



▲台風10号被害・上村えん堤(S45)



▲工事中の役場～見奈良間(S40)



▲第1回町民大運動会(S32)



▲重信中学校ヘルメット着用始め式(S47)



▲横河原線全線電化(S42)



▲上重信橋架橋(S34)

- 昭和53年／1978年
10 愛媛大学医学部附属病院開院
- 昭和54年／1979年
3 重信町商工会発足
- 昭和55年／1980年
3 山之内で7千年前の波の化
石(漣痕)発見
5 町営志津川墓園完成
7 北吉井・拝志森林組合が合
併し「重信町森林組合」発足
- 昭和56年／1981年
3 町民会館落成
4 町民憲章と町花「きく」、町
木「もくせい」制定
7 大ツツジ(見奈良)、歌仙(北
野田)町指定文化財となる
- 昭和57年／1982年
4 国土調査開始
11 見奈良大橋竣工
- 昭和60年／1985年
3 オンラインシステムによる
電算処理開始
落成
3 都市下水路幹線工事竣工
町制20周年記念式典挙行
6 東村旭氏町長に就任
9 町章改正
- 昭和61年／1986年
3 北吉井・南吉井・拝志農協
が合併し「重信町農協」発足
東温消防署業務開始

- 昭和51年/1976年 3 北吉井簡易水道事業竣工
- 昭和49年/1974年 3 拝志地区簡易水道竣工
- 昭和48年/1973年 3 重信町第2次総合開発計画策定
- 昭和47年/1972年 7 松山刑務所落成
- 昭和47年/1972年 11 重信中学校東に慰霊碑建立
- 昭和46年/1971年 2 週2回のごみ収集始まる
児童手当支給始まる
電話自動化
- 昭和45年/1970年 1 胃集団検診始まる
下林の層塔・五輪塔群・経塚町文化財となる
県営牛湊団地第1期工事完成
松山国際ゴルフ場オープン
台風10号で6億8千万円被害
塵あい焼却場完成
- 昭和44年/1969年 1 見奈良・田窪・牛湊へ町営簡易水道給水開始
3 山之内小学校閉校し北吉井小学校に統合
- 昭和43年/1968年 8 第1回夏季大学開催
- 昭和42年/1967年 7 幹線通水式挙行
横河原交差点に信号機設置
- 昭和42年/1967年 3 中央公民館(現・役場別館)落成
町制10周年記念式典挙行
伊予鉄横河原線全線電化
学校給食センター落成

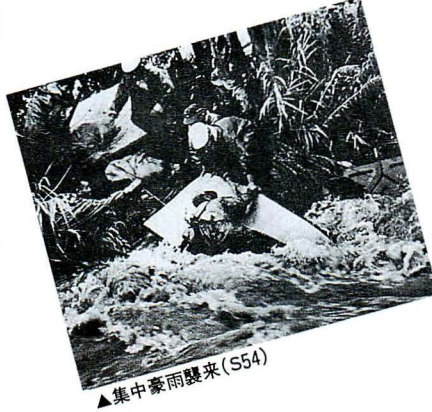
6 ページ下



▲上村大橋竣工(H2)



▲町無形文化財「楽頭」復活(H2)



▲集中豪雨襲来(S54)



▲重信中学校ナイター完成(S47)



▲愛媛県花き総合指導センター完成(H4)



▲町民会館落成(S56)



▲連痕化石発見(S55)



▲愛媛大学医学部附属病院開院(S51)



▲桜づつみ公園完成(H7)



▲町民プール落成(S58)



▲清掃センター完成(S53)



▲「ウェルケア重信」完成(H8)



▲第1回とてかぼちゃカーニバル開催(S60)



▲東温消防署完成(S53)

- 昭和61年/1986年 7 重信町観光協会発足
- 昭和62年/1987年 11 町制30周年記念式典挙行
- 昭和63年/1988年 4 上重信橋竣工
- 昭和63年/1988年 3 重信町誌発刊
- 昭和63年/1988年 4 商工会館落成
- 平成2年/1990年 5 重信町土地開発公社設立
- 平成3年/1991年 3 カントリーエレベーター落成
- 平成3年/1991年 12 上村大橋竣工
- 平成3年/1991年 11 印鑑登録証明書のオンラインによる交付開始
- 平成4年/1992年 4 重信中学校パソコン教育導入
- 平成4年/1992年 9 野田土地区画整理事業着工
- 平成4年/1992年 4 愛媛県花き総合指導センター落成
- 平成5年/1993年 8 重信町第3次総合開発計画策定
- 平成5年/1993年 9 学校週5日制スタート
- 平成6年/1994年 9 和田治樹氏町長に就任
- 平成6年/1994年 3 重信工業団地竣工
- 平成7年/1995年 森林公園かすみの森公園完成
- 平成8年/1996年 4 川内町重信町組合立斎場落成
- 平成8年/1996年 1 重信町清掃センター改築工事着工
- 平成8年/1996年 3 四国縦貫自動車道周辺整備事業完了
- 平成8年/1996年 4 特別養護老人ホーム含む「ウェルケア重信」落成

大切にしたいね

重信八景

町制40周年を記念して、わが町の顔ともいえる「重信八景」を選定しました。緑と文化の町にふさわしく、この八景が町民の皆さんに、愛され親しまれる事を願ってやみません。八景をご紹介します。

北吉井のビャクシンは、町内でただ一つの国指定の天然記念物です。この地域には、中世の頃、当地方を支配した豪族の城館跡がたくさん残っています。また松山藩の御用窯とも言われる、西岡焼の窯跡があります。北吉井のビャクシン、岩伽羅・吉山・衣掛・麓城跡、土居ノ内、西岡焼窯跡、臥龍の松



総合公園管理棟完成予想図

民がスポーツ・レクリエーションを通じ、自然を味人と人とのふれあいを深めることのできる公園平成12年に完成予定です。目的広場と全天候型テニスコート5面・練習用テニート1面を建設予定です。



三ヶ村泉

吉川の両岸には、数多くの湧水泉があります。地農業用水源として果たしてきた役割は、測り知れぬのがあり、歴史的にも価値の高いものです。中深く掘削された三ヶ村泉は、多様で貴重な生物がことと、よく知られています。

村・柳原・龍沢・森ノ木・上村古泉等



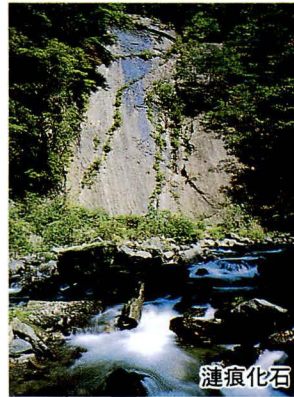
かすみの森公園

最近できた上村大橋は、遊歩道や展望所もつき、東に石鏡や皿ヶ嶺、西には遥か伊予灘が遠望できます。この橋の両側には3つの公園があり、中でも「かすみの森公園」が最も人気があります。

上村大橋、みんなの広場、かすみの森・桜つつみ公園



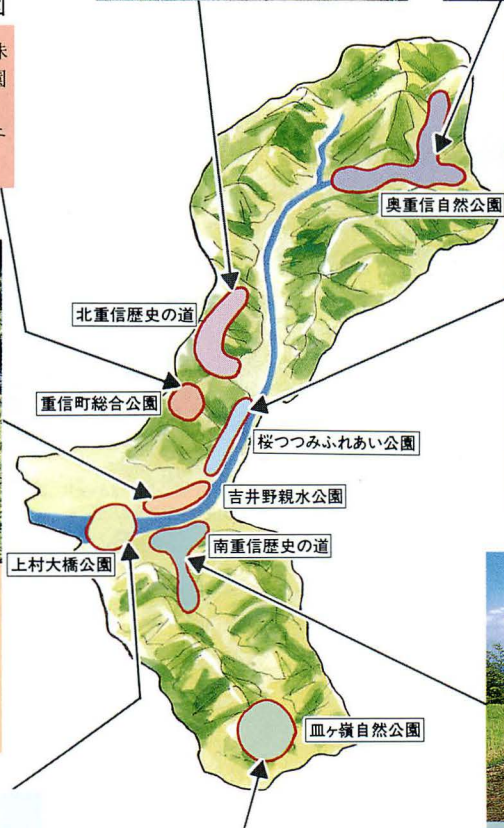
北吉井のビャクシン



澗痕化石

奥重信は、重信川の流域で「秘境」と呼ぶにふさわしい地域です。中でも清流奇岩の溪谷と、古い社叢が見ものであり、木地の澗痕化石は貴重なものです。夏はキャンプなどをする人でにぎわいます。

澗痕化石、阿歌古溪谷、烏ヶ嶽叢林、稲荷五社社叢、福見寺、キャンプ場等



横河原観月祭

ここからの石鏡山の眺望は良く、そのうえ月の名所としても親しまれてきました。横河原観月祭は、町を代表するイベントの一つになっています。数多く並んだ堰堤の落水も見事です。横河原観月祭、桜等並木、遊園地、流路の堰堤



層塔・五輪塔群

この地域には古い時代からの、仏教関係の遺跡がたくさん残っています。また下林や上村には、農業用水確保のために、大変苦勞をした重要な遺跡が残っています。

層塔と五輪塔群、拝志古窯群、銭壺、餓死万霊供養塔、佐古・彦八池、花山・庄司・佐古城跡、上村町古墳



白糸の滝

皿ヶ嶺といえば、白糸の滝を連想するほど、この滝はよく知られています。皿ヶ嶺は、広い原生林を持ち、皿ヶ嶺連峰県立自然公園としても知られています。このかけがえのない大自然を大切にしたいものです。白糸の滝、ブナ等の原生林、風穴、水の元ロッジ、誓女石、千人塚